

♪ 1月25日研修会を開催しました ♪

長崎大学保健・医療推進センター 臨床心理士 富永 ちはる先生をお招きし、“子どもたちの発達障がいとおとなの関わり方”と題してお話をいただきました。

今回は全会員皆様に子どもの発達障がいに対し、知識を身につけ理解を深めてもらいたい思いがあり、富永先生に基礎知識の講演をお願いしました。

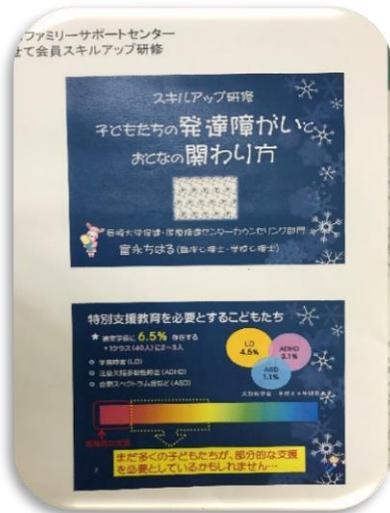


発達障がいといっても様々な障がいがあり、代表的なものとして自閉スペクトラム症(ASD)・学習障害(LD)・注意欠陥多動性障害(ADHD)が挙げられ、それぞれの子どものコミュニケーション力、運動面・行動面など具体的な様子を踏まえ教えていただきました。

ADHDの子どもタイプ別の接し方なども、とても勉強になりました。最後にグループワークを行い、グループごとに援助活動中や子育てで困ったこと・良かったこと・うれしかったこと・学んだことを話し合いました。いろんな意見が飛び交い皆様がいろんな思いを抱いて活動されていることを実感し、このような機会を設けることの大切さを痛切に感じました。

皆様のご意見から、子どもにどう接したらいいのか、また保護者との対応の仕方、関係性に戸惑いを感じている内容が数多くあったので、内容をまと

研修会資料



め富永先生にアドバイスをいただきました。いろんな状況が考えられますが、先生からのアドバイスを知識とし心がけることで、子どもとの関わり方や今後のファミサポの活動が変わってくるかもしれないですね。

富永先生からのコメントです！

こんにちは。長崎大学の富永です。
内容を拝見し、ADHD 特有の「衝動性や突発的な問題行動」への対応に苦慮されている方が多いように見受けられます。
お子さんを預かる以上、安全に楽しく過ごさせてあげたいのに、急に危険な行動をしてしまうお子さんに戸惑ったり、どう注意したらいいのかと悩んだり、お子さんのことを心配している気持ちをどう保護者に伝えたらいいのか？適切な支援に繋がっていくのか？懸念されておられるようなのでデリケートで難しい部分ですが私の考えを述べたいと思います。(次のページへ)



グループワークの様子

◆ 活動中や子どもと接する時の対応及び注意点 ◆

- ① 子どもの命を守ることを最優先する。危険なことはしっかり叱り、危険な行動や行為を止めるように毅然とした態度で説く。
- ② 子どもと二度と危険なことはしないと約束し、それが守れたり少しでも約束を守ろうと努力する様子が見られた際は、その場でいっぱい褒める。具体的に褒めることが大切です。
- ③ 保護者には必ず危険だった様子、その時にどのように対応したか、子どもとどのような話をし、その後どのように変化が見られたかなど、丁寧に伝えておく必要があります。
- ④ ご家庭で過ごす中で、同じような行動で困ったことが無かったか、保護者も心配になることがなかったかどうか、情報交換ができるようになることが理想です。そのためには、普段から信頼関係を築いておく必要があると思います。

◆ 保護者との信頼関係を築くためのポイント ◆

- ① 決して子育てのダメ出しをしない。
一生懸命子どもと接していることを認め、賞賛するよう心がける。
- ② 子どもの特性に応じた工夫をしてきて、今の子育ての形がある…と理解すること。
- ③ 子どもの個性、それに合った子育て法にも個性があることを理解する。

子どもも大人も、「褒める」ことから本人の成長する力を信じて見守る支援をしたいものですね。「怒られる、叱られる、注意される」が増えると、私たちは自信を無くし、本来できることもできなくなってしまい、気持ちが落ち込み、悪循環に陥ってしまいがちです。サポーターとして相手の心理状態に配慮しながら、上手に「褒めて力を伸ばす」サポートを心がけたいですね。

会員の皆様にお知らせ

まかせて会員・どっちも会員は援助活動中は会員証を携帯して下さい。

ファミサポの活動として保育施設までの送迎があります。

保育施設側は担任以外の職員がお子さんの引き渡しをする場合がありますのでファミサポの会員証の提示を求められる場合があります。

まかせて会員・どっちも会員は必ず会員証を携帯してください。

また、おねがい会員はスムーズにお子さんの引き渡しができるように保育施設に「ファミサポの〇〇さんという方に送迎をお願いしています。」と必ず伝えておいてください。

保育施設側は保護者以外にお子さんを預ける場合、最善の配慮を行わなければなりません。ご協力をお願いいたします



会員登録変更届の様式が変わりました。

平成29年4月から会員登録変更届の様式が変わりました。記入する項目も増えているので、その項目と変更がある項目を記入し、必ずお名前とご捺印の上、各センターへ送り返してください。

※どっちも会員は、用紙の(表)がおねがい会員の登録変更届、(裏)がまかせて会員の登録変更届になっていますのでそれぞれご記入ください。

平成29年度 ファミサポ年間予定

✿ まかせて会員養成研修会 ✿

- 第1回 平成29年6月20日～23日
- 第2回 平成29年10月予定
- 第3回 平成30年2月予定

✿ スキルアップ研修会 ✿

- 第1回目 平成29年7月11日
- 第2回目 平成30年1月予定
- ★第1回目は肩こり腰痛解消法と会員交流会を予定しています。詳しくは次のページでご紹介しております。



♪スキルアップ研修会開催のお知らせ♪

内 容 : 『 肩こり・腰痛解消法 ～姿勢をよくする体操と靴選び～ 』

講 師 : すこやか整骨院 院長 臼井 一晃 氏

※ 動きやすい服装と履きなれたスニーカーを履いてお越しください。

尚、研修後 30 分程度、会員の交流会を予定しています。

日 時 : 平成 29 年 7 月 11 日 (火) 13 時 30 分～15 時 00 分

場 所 : 長崎市社会福祉会館 4F 大会議室 (長崎市上町 1-33 NBC長崎放送隣り)

対 象 : まかせて会員・どちらも会員

定 員 : 40 名程度 (定員になり次第締切ります)

申込締切 : 平成 29 年 7 月 4 日 (火)



※今回の講師は足の専門家である「A 級フットケアトレーナー」を取得した県内唯一の柔道整復師で、テレビ・新聞でも紹介されている臼井先生です。足が原因で起こる肩こりや腰痛のお話や解消法等をご紹介頂きます。肩こり・腰痛でお困りの方は是非この機会に参加されてみませんか？

【お申込み・お問い合わせ先】

ファミリー・サポート・センターながさき

長 崎 市 保 育 会 ☎ : 8 2 9 - 7 7 1 4

担当 : 田中・山下

長崎市社会福祉協議会 ☎ : 8 2 9 - 6 2 4 4

担当 : 豊田・宮本



乳児ボツリヌス症に注意しましょう！！

今年 4 月、日本国内では初めて乳児ボツリヌス症による生後 6 カ月の男児の死亡例が報告されました。これは知っていれば避けられ、守られたはずの命です。今回は乳児ボツリヌス症について紹介します。

乳児ボツリヌス症とは…？

1 歳未満の赤ちゃんがハチミツや黒糖などの食品に混入したボツリヌス菌の芽胞(菌のかたまり)を摂取することで発症する感染症です。

1 歳未満の赤ちゃんは、消化器官が未熟で腸内細菌の環境も整っていない為、赤ちゃんの腸内でボツリヌス菌の芽胞が発芽、増殖してボツリヌス毒素を出すことで発症します。

予防法は…？



はちみつ、黒糖(黒砂糖)などの食品を 1 歳未満の赤ちゃんに摂取させないことが大切です。

潜伏期間と症状は？

ボツリヌスの芽胞を摂取してから発症するまでには 3 日～1 カ月の潜伏期間があり、発症しても原因が分からないことがあります。

ボツリヌス毒素は神経系を麻痺させる毒素で、乳児ボツリヌス症を発症すると、筋肉が麻痺を起して身体をうまく動かせなくなることがあります。

- ・便秘 ・嚥下困難 ・筋力の低下
- ・呼吸筋が麻痺し、呼吸困難 など…

上記のような症状や、重症患者は死亡する場合があります。

最近はインターネットの普及により、手軽に離乳食等に関する情報を入手することができますが、中には誤った情報や不正確な情報により、ハチミツや黒糖等を使用したレシピもあります。ハチミツや黒糖だけでなく、ボツリヌス菌の芽胞の混入が考えられる食品又はレシピではないかしっかりと確認しましょう。また、1 歳以上のお子さんに対しては、あまり過剰に不安がらず正しい知識を持つ事も大切です。



3月末現在 会員数・活動状況

【地区別会員数】

会員種別	会員数	中央	東部	西部	南部	北部
おねがい会員	896名	239名	88名	79名	67名	423名
まかせて会員	513名	115名	57名	101名	52名	188名
どっちも会員	70名	9名	10名	8名	7名	36名
合計	1479名	363名	155名	188名	126名	647名

【活動数】(H28.4.1~H29.3.31)

活動内容	回数
保育所・幼稚園登園前の預かり	329回
保育所・幼稚園のお迎えとその後の預かり	349回
放課後・児童クラブ終了後の預かり	258回
子どもの習い事等の場合の援助	400回
保育所・学校等休みの時の預かり	53回
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の預かり	160回
保護者等の外出(冠婚葬祭・他の子どもの用事)の場合の預かり	219回
保護者・兄妹等の病気、その他急用の場合の預かり	117回
その他	293回
合計	2178回

報告書は毎月
5日までに
提出を！！



その他…

- ・沐浴介助
 - ・検診・引越し時
 - ・求職活動中
- など

あじがき

皆様、いかがお過ごし
ですか？

日頃より、ファミサポ
の活動に際し、ご協力い
ただきまして、ありがと
うございます。

さて、今回のスキルア
ップ研修会では、まかせ
て・どっちも会員の皆様
の健康向上のため、女性
にとっては長年の悩み
【肩こり・腰痛】について
専門の先生にお越しいた
だきます。『自分磨き』の
ために参加してみませ
んか？皆様とお会いでき
る事をスタッフ一同楽しみ
にしております。

季節の変わり目ですの
で、お身体ご自愛くださ
い。今年度もよろしくお
願い致します。



ファミリー・サポート・センターながさき



【長崎市社会福祉協議会】

〒850-0054 長崎市上町1番33号

TEL : 095-829-6244 / FAX : 095-829-6245

E-mail : famisapo@nagasaki-shakyou.or.jp

【長崎市保育会】

〒850-0873 長崎市諏訪町9番12号

TEL/FAX : 095-829-7714

E-mail : support-hoikukai@ngs1.cncm.ne.jp